



ふあい 水 広場



多気山持宝院周辺の森（社叢）は、原始林の面影を今日までとどめている市内唯一の場所。

また、植物地理学上、本県は南部が暖帯に、北部が温帯に属していますが、この森は、日本の暖帯の北縁に位置しており、学術的にも貴重になっています。

森の中には、カシ類とヤブツバキ・ヒサカキなどの常緑樹、ヤマザクラ・ヤマモミジなどの落葉樹、さらに暖地性の常緑木であるイタヒカズラ・テイカズラなどが、自然のまま密生しています（昭和32年1月11日、市の天然記念物に指定）。



多気山持宝院社叢^{しゃそう}

田下町 伊東永峰さん

文化財ウォッチング